

外部サービス連携を強化

業界全体のIT化推進

(株)アンドパッド

全体を通しての業務効率化の妨げになっていく」と分析。IT化における業界の課題解決を旨とする。

なお、同アプリマー

システム「カンタン

見積計画」や、(株)オービックビジネスコンサルタント(東京都新宿区)のクラウド会計システム「勘定奉行クラウド」、(株)シンカ(東京都千代田区)の顧客接点クラウド「カイクラ」などが並ぶ。工務店の業務効率化やコスト削減など業務課題解決の実現に期待がかかる。

クラウド型建設ソフト
ジェクト管理サービス「ANDPAD」
(アンドパッド)の運営会社(株)アンドパッド
(東京都千代田区)は外部サービスとの連携を強化し、建設業界全体のデジタル化を推進する。具体的にはこのほど公開した建設DXプラットフォーム「ANDPADアプリマーケット」にて同社のAPIを提供する。APIとはソフトウェアに外部と連携するための窓口をつくり、外部ソフトウェアなどつながれる状態にするものだ。

業務のデジタル化を進め効率化を図りたい建設会社と、DXに貢献するITサービスを提供する企業や開発者をつなげる狙いがあり、同サービスについては現在特許出願中という。同社は「業務効率化の為に様々なITサービスの導入が進んでいるが、それぞれの部門で異なるITサービスを導入することが多く、部門間やサービス間のデータ連携が難しいことが多い。会社